

誰もが気軽に利用できる 福祉と暮らしのサポート拠点

ウェルファーム杉並

お伝え
したい

ウェルファーム杉並は、天沼3丁目にある荻窪税務署および国家公務員宿舍の跡地等に整備する、複合施設棟と特別養護老人ホーム棟(33年度開設予定)の2つの建物からなる複合施設の愛称です。
今号では、この春オープンする複合施設棟を中心に、ウェルファーム杉並の主な取り組みを紹介します。

3つのポイント

1

福祉と暮らしの相談に応え、 さまざまな活動や交流、集いの場を提供

くらしのサポート ステーション

1階

経済的な困り事や生活上のさまざまな不安や課題を抱えた方に寄り添いながら、解決に向けてサポートします。
また、子どもの学習支援なども行います。

生活が苦しく
将来が不安…

就労支援 センター

1階

働きたい方のために、働く自信を高める体験プログラムや就労準備相談、職業紹介、定着支援までを、ハローワーク新宿と一体となり、ワンストップでサポートします。

やりがいのある
仕事を探したい

子ども・子育て プラザ天沼

1階

乳幼児を連れていつでも気軽に遊べ、ゆったりと過ごせる場です。また、子育てに関する講座や遊びのプログラムを実施するほか、各種サービスの情報提供と利用相談を行います。

気軽に子どもを連れて
ママ友と交流したい

天沼 区民集会所

4階

地域の方が学習や趣味、文化活動などさまざまな活動に幅広く利用できる場を提供します。

仲間とのサークル
活動を楽しみたい

杉並区 成年後見センター

3階

認知症、知的障害、精神障害等で判断能力が十分でない方の権利擁護や成年後見制度に関する相談、成年後見申立ての手続きをサポートします。

自分や親族の判断能力が
十分でなくなったとき
財産管理が心配…

消費者 センター

3階

契約上のトラブルなど、消費生活に関するさまざまな相談を専門の相談員が対応します。また、各種講座の開催や、消費生活に関連する情報を提供します。

身に覚えのない
請求を受けた…

杉並区社会 福祉協議会

2・4階

子育てのお手伝い、年金の手続きや公共料金の支払いなど、生活上の心配事について一緒に考えサポートします。

どこに相談したら
いいかわからない…

杉並福祉 事務所

2階

心身に障害のある方や生活にお困りの方などの相談支援を行います。また、生活保護受給者等への就労相談や求人情報の提供等を行います(ステップアップしごとコーナー)。

生活保護の
相談をしたい

さまざまな問題が重なり、困っている世帯を丸ごとサポート

親の介護と育児を同時に行うダブルケアや認知症の親と障害のある子どもなど、複数の生活課題を抱えた世帯が増加しています。こうした世帯を、各相談機関等が在宅医療・生活支援センターによる調整のもと、高齢者や障害者、子育てなどの分野に横串を刺すように、丸ごとサポートしていきます。

CASE 認知症の母親(80代)となんらかの障害が疑われる息子(50代)

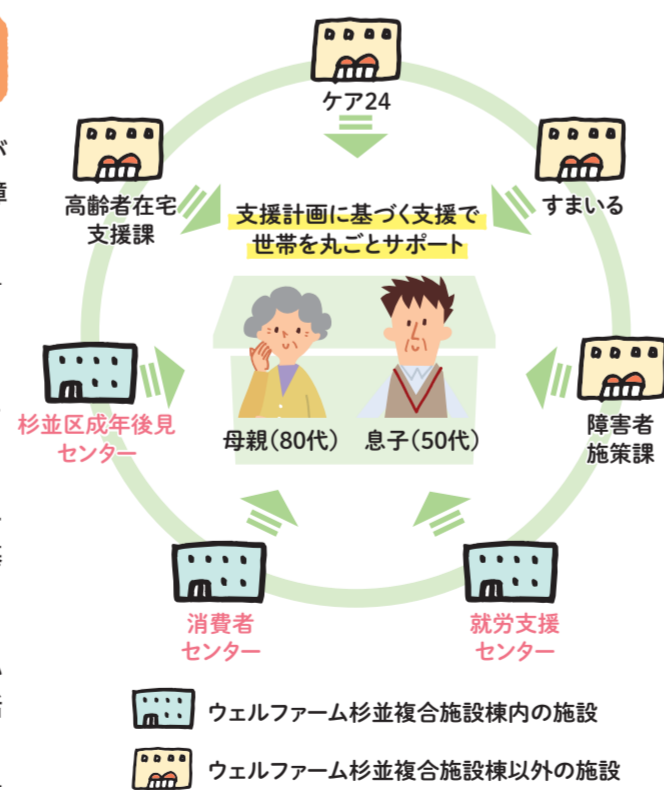
認知症を患っていて、消費者被害を疑った知人が民生委員に相談した。

他人とのコミュニケーションを取ることに難があり、働くことに不安を感じている。安定した収入も得られておらず、母親の介護保険サービスの利用を拒否している。

母親と息子の状況を把握した民生委員が、近くの相談機関に相談。

相談機関は、在宅医療・生活支援センターに相談。同センターは、母親と息子の支援内容を1つの計画にまとめ、その計画に基づき、関係機関が世帯を一体的に支援(右図参照)。

母親は消費者被害を最小限に抑えることができ、成年後見人が付いた。息子は就労先が見つかり、安定した収入を得られることで生活の不安が軽減。母親の介護保険サービスの利用拒否もなくなった。



在宅医療・ 生活支援センター

3階

自宅などの希望する場所で安心して療養ができるよう、本人や家族の不安や悩みに寄り添った助言のほか、看取りなどについて医療機関や関係機関との連携体制を強化します。また、さまざまな問題が重なり、困っている世帯を関係機関が丸ごとサポートするための調整を図ります。

住み慣れた自宅で安心して
医療を受けたい…

2

「地域の支え手」 をサポート

大好きな
このまちのために、
何か役に立ちたい…

高齢者や単身世帯などの支援が必要な世帯が孤立しないよう、杉並区社会福祉協議会や杉並ボランティアセンター【4階】が、各種ボランティアをはじめとした「地域の支え手」となる地域人材をサポートします。
また、在宅医療・生活支援センターと杉並区社会福祉協議会の地域支援ネットワーク、杉並ボランティアセンターなどが連携して、地域での支えあいの活動を広げるための仕組みをつくります。



特別養護老人ホーム棟

たんの吸引が
必要のために入所を
断られてしまった…

医療に強い大規模な 特別養護老人ホームを整備。 自宅での療養生活もサポート (33年度開設予定)

33年度には、医療的ケアが必要な方への対応が可能で、かつ緊急時や軽度障害者にも対応するショートステイも併設した、区内最大級規模の特別養護老人ホームを開設します(定員200名以上)。
また、自宅での療養生活を支えるため、診療所や訪問看護ステーション等を併設する予定です。



各施設の取り組み・事業の詳細や、愛称の由来など、ウェルファーム杉並に関する詳細は、区ホームページをご覧ください。



順次オープン

ウェルファーム杉並複合施設棟のご案内

凡例 日 開所日時、利用時間
内 事業内容

4階

4月3日～

天沼区民集会所

☎5335-7330 (問い合わせは4月3日から)
日 午前9時～午後9時(第1・3月曜日休館)
内 学習・文化・交流活動のための集会施設
※利用は公共施設予約システム「さざんかねっと」からお申し込みください。



4月2日～

杉並区社会福祉協議会 (杉並ボランティアセンター)

☎5347-1017 FAX 5347-2063
日 月～金曜日午前8時30分～午後5時15分(杉並ボランティアセンターは火～土曜日)
内 ● 地域福祉活動の支援 ● きずなサロンの運営支援
● ボランティア活動の支援 ● ボランティア保険の受け付け
● 車いすの短期貸し出し



3階

4月2日～

在宅医療・生活支援センター

☎5335-7317 FAX 5335-7318 (問い合わせは4月2日から)
日 月～金曜日午前8時30分～午後5時
内 ● 在宅医療に関する相談支援、在宅医療の普及啓発、調査分析など
● 地域の相談機関への後方支援



4月2日～

杉並区成年後見センター

☎5397-1551 FAX 5397-1555
日 月～金曜日午前8時30分～午後5時15分
内 ● 成年後見制度に関する総合相談・周知普及
● 成年後見申立ての手続き支援
● 後見人サポート
● 地域ネットワークの形成

3月26日～

消費者センター

☎3398-3141 (事務室) FAX 3398-3159
日 月～金曜日午前8時30分～午後5時
内 ● 消費生活に関する講座の開催、情報提供など
● 消費生活関連の図書・資料などの閲覧、貸し出し
◆ 消費生活相談
☎3398-3121 (相談専用電話)
日 月～金曜日午前9時～午後4時



2階

3月26日～

杉並福祉事務所

☎3398-9104 FAX 3398-9598
日 月～金曜日午前8時30分～午後5時
内 生活保護に関すること、心身に障害のある方などの相談支援

4月2日～

杉並区社会福祉協議会

☎5347-1010 FAX 5347-2061
日 月～金曜日午前8時30分～午後5時15分
内 ● 福祉なんでも相談 ● 資金貸し付けの相談
● ささえあいサービス、ファミリーサポートの利用相談
● 判断力の十分でない高齢者・障害者の日常の金銭管理の相談(あんしんサポート)
● 賛助会費・寄附などの受け付け



1階

4月9日～

子ども・子育てプラザ天沼

☎5335-7319 FAX 3398-2330
問い合わせは4月2日から。4月1日以前は児童青少年課☎3393-4760(一時預かりについては4月2日から受け付け開始(一時預かり専用☎5335-9721)。4月1日以前は子育て支援課)
日 月～金曜日午前9時～午後6時(一時預かりは午後5時まで)。土・日曜日午前9時～午後5時(一時預かりは午後4時まで(日曜日・プラザの休館日は休館)) / いずれも第1日曜日休館
内 ● 子供の成長と子育てを応援するつどいの場
● 子育てに関する講座等の実施と各種サービスの情報提供、利用相談
● 保護者の通院・リフレッシュ等のためのお子さんの一時預かり



4月2日～

くらしのサポートステーション(生活自立支援窓口)

☎3391-1751 FAX 3391-1752
日 月～金曜日午前8時30分～午後5時
内 ● 経済的な困り事や生活上のさまざまな不安や課題を抱えた方の相談支援
● 他の機関と連携した家計相談支援、就労支援、子どもの学習支援など



4月2日～

就労支援センター

日 月～金曜日午前9時～午後5時(若者就労支援コーナーは第1・3土曜日も開館)
内 ● 若者就労支援コーナー(すぎJOB) ☎3398-1136
「働く」ための相談(就労準備相談)、セミナーの開催など
● ジョブトレーニングコーナー(すぎトレ) ☎6383-6500
働く土台をつくりたい、働く自信を高めた方の相談・訓練
● ハローワークコーナー ☎3398-8619
職業相談、職業紹介



地階

駐輪場 (無料。194台(施設用含む))

日 午前8時～午後10時 ※子ども・子育てプラザ天沼を利用する方は1階東側の駐輪場・ベビーカー置き場をご利用ください。

駐車場 (有料。16台)

日 午前8時～午後10時

災害備蓄倉庫もあります。

※館内のいずれの施設も、祝日(天沼区民集会所は開館)、年末年始(12月29日～1月3日。天沼区民集会所は12月28日～1月4日)は休館です。



アクセス

所在地: 天沼3-19-16
交通: JR中央線・東京メトロ丸ノ内線「荻窪駅」下車。北口から徒歩8分。または関東バス(中村橋駅・荻窪駅北口間 荻06)、関東バス(練馬駅・荻窪駅北口間 荻07)で「荻窪税務署」下車徒歩1分

在宅医療・生活支援センター開設記念講演会

「誰もが安心して暮らせる杉並区を目指して」

在宅療養への備えや、区民の誰もが安心して暮らせる地域をつくるために必要なことを考えます。

日時 4月13日(金)午後7時～9時
場所 ウェルファーム杉並(天沼3-19-16)

内容・講師
● 講演「家族や自分が突然在宅医療を必要となった場合の心の準備」(慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室・山岸暁美(右写真))
● 講演「地域共生社会を考える～我が事・丸ごとの地域づくりについて～」(厚生労働省社会・援護局地域福祉課生活困



窮者自立支援室長 本後健)

● 質疑・ディスカッション

定員 100名(申込順)

申し込み ハガキ・ファクス・Eメールに「講演会参加希望」、住所、氏名、参加人数、電話番号を書いて、3月29日(必着)までに保健福祉部管理課(〒166-8570阿佐谷南1-15-1 ☎5307-0774) hoken-kanri@city.suginami.lg.jp

問い合わせ 同課在宅医療・生活支援センター開設準備担当

その他 手話通訳あり